

ひまわり在宅サポートグループ 大崎ひまわり訪問看護ステーション

尾梶 翔(理学療法士)

- 功 績** 尾梶は、ひまわり在宅サポートと健育会病院で初となる人員支援として、大崎訪問看護ステーションへ6か月間の応援異動を快く引き受ける。未経験に近い訪問リハビリを短期間で習得し、ご利用者一人ひとりに寄り添った支援を実践。さらに、その経験を病院へ還元するため自主的に訪問リハビリの内容をまとめるなど、病院と在宅をつなぐ新たな連携体制の構築にも大きく貢献した功績。
- 推薦者氏名** ひまわり訪問看護ステーション 所長 横川 幸香
- 推薦理由** グループ初となる病院から在宅への人員支援を実践し、新たな連携の礎を築きました。未経験の分野にも主体的に挑戦し、ご利用者本位の支援を追求する姿勢は職員にも良い影響を与えています。その功績を称え、理事長賞に推薦いたします。

内 容

尾梶は、大崎訪問看護ステーションの人員不足を補うため、健育会病院から6か月間の期間限定で異動となりました。訪問リハビリの経験はほとんどありませんでしたが、その役割を快く引き受け、初めての業務に戸惑いながらも懸命に学び、短期間で独り立ちを果たしました。

ご利用者一人ひとりの生活に寄り添い、その人らしい暮らしを支える訪問リハビリにやりがいを見出し、個々の生活に合わせたリハビリを実践しています。さらに、その経験を病院へ持ち帰り、退院後の生活を見据えた支援につなげたいという思いから、誰に依頼されたわけでもなく、自ら時間を割いて訪問リハビリの内容をまとめています。この行動は、病院と訪問看護の連携を深め、ひいてはご利用者へのより良い支援につながることを見据えた主体的な取り組みです。

9月末までの勤務予定ですが、ご利用者に最適なリハビリを提供するため、事業所の椅子を借りて評価や訓練に活用するなど、より良い支援を追求する姿勢は尽きることがありません。その真摯な姿勢はご利用者から高い信頼を得るとともに、大崎訪問看護ステーションの職員にも良い刺激を与えています。

一人の職員の熱意が組織全体の雰囲気を変え、病院と在宅をつなぐ架け橋となる姿は、まさに健育会の理念を体現するものです。その高い専門性と主体的な行動を称え、理事長賞に推薦いたします。